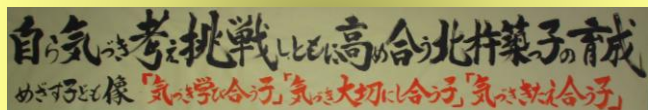


ともに・・・

R8. 7. 7 文責校長



「たくさん本を読んでもらいたい」

～26人の本棚～

全校のために、4・5・6年生が4つの委員会に分かれ、“役立ち”を発案・企画し、それぞれその取組を行っています。

その委員会のひとつに、図書委員会があります。6月29日から7月9日まで、校内読書週間を位置づけ、全校のみんなにたくさん本を読んでもらいたいとの願いから、『26人の本棚』という企画を考えたようです。

これは、1年生から6年生までの全校の子ども一人一人が、みんなにお勧めしたい本を紹介するために、図書室の一画にコーナーを設け、そこに、お勧めするメッセージやイラストを記入したポップを作り、お勧めの本に添えるようです。1年生は、まだ入門期ですので、文字よりイラストを描いてもらい、メッセージは図書委員が聞き取り、文字に起こすそうです。

これまでにない新たな取組で、この自分たちが発案した企画を実行するために、これまで休み時間に何度も集まり準備を進めてきたとのことでした。

図書委員の一人が、「まだ読んだことのないお勧めの本を手にとってもらって、“この本おもしろいんだ”と気づいてほしい。そして、本をたくさん読んでほしい」と語ってくれました。



子どもたちが願いを持ち、その実現に向けアイデアを出し合い実践していく・・・まさに“考え挑戦する”姿がここにもあります。

米作りの魅力とは・・・

～5年生 手植えによる田植え～

6月19日（金）、5年生の子どもたちが、総合的な学習の一環で、田植えをしました。今年度も地域の山本さんご夫妻のご協力のもと、これまでに籾蒔きやその生長の様子を観察させていただいています。この日見た苗は、元気に育っています。

山本さんから田植えの仕方の説明を受けた後、子どもたちは裸足になって田に向かい、恐る恐る泥水の中へ足を伸ばします。「めっちゃ、ぬるぬる!」「足が沈む!」「足が重い」・・・こんな声が子どもたちから聞こえてきます。



苗を植える位置を記した手作りの目印つきロープに合わせ、苗を植えていきます。“一度に植える苗をたくさん取りすぎて植えると、苗が大きく育たない”“苗の間隔をあけないと苗同士がけんかをして育たない”との山本さんのアドバイスを受けながら、子どもたちは苗の量や植える間隔を意識して植えていきます。

時が経つと、「腰が痛い・・・」との声もあがりますが、誰一人手を休めません。子どもたちはだんだん慣れてきて、植えるスピードもアップ。教師も合わせ7名でしたが、短時間で苗を植えてしまうことができました。



子どもたちは“米作りの魅力探し”をテーマに、米作りを実際に自分たちで経験してみようと臨んだとのこと。米作りを通して、“魅力”の意味を単に食の楽しみからだけではなく、「育てる大変さ」とともに、「育てる喜び」「やりがい」とつないで、魅力の奥深さの意味を深掘りしていくにちがいありません。

健康は歯磨きからも・・・

6月4日は、虫歯予防デーでした。それに合わせ、本校の養護教諭が子どもたちに、歯の磨き方指導を行いました。

虫歯になっている歯の映像を見た子どもたち。「わあ～、ぼろぼろや～」と、思わず声が出ます。“虫歯菌が塊をつくったものを歯垢という”“歯垢の中で増えていった虫歯菌が、酸を出し歯を溶かす”“歯垢は歯にたくさんついている”ことを知った子どもたちは、歯磨きの大切さを感じたようです。

そして、①食後に歯磨きをする ②歯ブラシを歯にきちんとあてる ③磨く時力を入れすぎない ④1本ずつ磨く ⑤磨きにくいところをきちんと磨く という歯磨きのコツ5つを教えてもらい、以降の歯磨きで自身が気をつけたいことを1つ挙げ、チェックシートをつけながら実践しているようです。

口腔内環境は、口の中だけでなく、全身の健康にも影響があると言われています。6月中旬には歯科検診もありました。要治療の歯は早めに治療し、日々の丁寧な歯磨きを通して、健康な体作りの基盤を確かなものにしていくことが大切です。ご家庭でもよろしくお願ひします。